



平成25年 1 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年12月 5 日

上 場 会 社 名 株式会社イーブックイニシアティブジャパン 上場取引所 東  
 コード番号 3658 URL http://corp.ebookjapan.jp  
 代 表 者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小出 齊  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 礒江 英子 (TEL) 03(6272)9244  
 四半期報告書提出予定日 平成24年12月 6 日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年 1 月期第 3 四半期の業績 (平成24年 2 月 1 日～平成24年10月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年 1 月期第 3 四半期	2,118	39.8	326	26.2	326	33.5	183	△24.6
24年 1 月期第 3 四半期	1,515	—	258	—	244	—	243	—

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年 1 月期第 3 四半期	45.70	42.42
24年 1 月期第 3 四半期	67.14	63.22

(注) 1. 当社は平成23年 1 月期第 3 四半期においては、四半期財務諸表を作成していないため、平成24年 1 月期第 3 四半期の対前年同四半期増減率の記載をしておりません。

2. 当社は平成24年11月 1 日付で、普通株式 1 株につき 2 株の株式分割を行っております。このため、前期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1 株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年 1 月期第 3 四半期	1,730	970	56.0
24年 1 月期	1,330	779	58.5

(参考) 自己資本 25年 1 月期第 3 四半期 969百万円 24年 1 月期 779百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年 1 月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年 1 月期	—	0.00	—		
25年 1 月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年 1 月期の業績予想 (平成24年 2 月 1 日～平成25年 1 月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,960	36.0	350	13.2	350	18.6	205	△45.0	51.20

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 当社は平成24年11月 1 日付で、普通株式 1 株につき 2 株の株式分割を行っております。このため、1 株当たり当期純利益については、当該株式分割の影響を考慮して算定しております。

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年1月期3Q	4,226,400株	24年1月期	4,214,600株
② 期末自己株式数	25年1月期3Q	200,000株	24年1月期	200,000株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年1月期3Q	4,018,845株	24年1月期3Q	3,628,151株

(注) 当社は平成24年11月1日付で、普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。このため、期末発行済株式数（自己株式を含む）、期末自己株式数及び期中平均株式数（四半期累計）は、当該株式分割が前期首に行われたものと仮定して算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(2) 追加情報	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
(5) 重要な後発事象	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、震災後の復興需要等により景気が緩やかに回復基調にあるものの、世界景気の減速等もあり、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

そのような中、電子書籍を取り巻く環境においては、海外大手配信会社の日本市場への参入や各種タブレット端末の発売により、電子書籍に対する関心が高まる効果がありましたが、一方で有力企業との競争環境が激化いたしました。タブレット端末は、7インチ前後の大きさのものが相次いで発売され、廉価なモバイルタブレットのラインナップが増加しました。株式会社MM総研の調べでは、平成23年度のタブレットの出荷台数は前年比2.3倍の278万台でしたが、平成28年度には798万台になると予測しています。

このような事業環境のもと、当社においても品揃えの一層の拡充と新規サービスの改善を行った結果、当第3四半期累計期間の業績につきましては、売上高2,118,062千円(前年同期比39.8%増)、営業利益326,004千円(同26.2%増)、経常利益326,278千円(同33.5%増)となりました。四半期純利益につきましては、前年同期においては、税務上の繰越欠損金等が税金費用を抑えていましたが、当四半期末においては、税務上の繰越欠損金の解消に伴い、税金費用が発生した等の理由により、183,675千円(同24.6%減)となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

#### ①電子書籍配信

当第3四半期累計期間においては、コミックを中心に一般の書籍の拡充に努めた結果、株式会社集英社との間でコンテンツ使用許諾契約の締結に至りました。一般書籍においては、芥川賞、直木賞受賞作品のリリースや時代を超えて高い価値を持つ名著を配信し、ラインナップの拡充に注力いたしました。その結果、平成24年10月末時点の取扱い数は、64,890冊(内訳：男性漫画31,330冊、女性漫画21,770冊、総合図書7,430冊、その他4,360冊)となりました。

利用者の利便性の向上にあたっては、電子書籍をダウンロードすることなくウェブ上で閲覧することができるウェブビューアをリリースしました。書籍をダウンロードする必要がないため、新しいユーザーも手軽に電子書籍を楽しんでいただけるツールとなっています。

以上の結果から、当第3四半期累計期間の売上高は、2,010,031千円(前年同期比43.7%増)となりました。

#### ②電子書籍提供

取引先への主力作品の提供及び各種キャンペーンを実施した結果、売上が増加傾向にあるものの前年度のサイトリニューアルに伴う落ち込みの回復には至っておらず、当第3四半期累計期間の売上高は91,171千円(前年同期比16.6%減)となりました。

#### ③その他の事業

主としてイーブック図書券の販売等により、当第3四半期累計期間の売上高は、16,859千円(前年同期比157.3%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

#### ① 総資産、負債及び純資産の状況

(資産の部)

当第3四半期会計期間末における総資産は、1,730,784千円(前事業年度末比399,982千円増)となりました。総資産の内訳は、流動資産が1,678,221千円(同403,520千円増)、固定資産が52,563千円(同3,538千円減)であります。流動資産増加の主たる要因は、主として売上の増加に伴い、現金及び預金が408,522千円増加したことによるものであります。

(負債の部)

当第3四半期会計期間末における負債合計は759,874千円(同208,140千円増)となりました。その主たる要因は、売上の増加に伴い買掛金が128,798千円増加したことによるものであります。

(純資産の部)

純資産合計は970,910千円(同191,842千円増)となりました。その主たる要因は、四半期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加183,675千円によるものであります。

### (3) 業績予想に関する定性的情報

平成25年1月期の業績予想につきましては、平成24年3月14日に公表いたしました内容から変更ありません。なお、業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の変更)

第1四半期会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準第2号 平成22年6月30日)及び「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日公表分)を適用しております。

当第3四半期貸借対照表日後平成24年11月1日付において株式分割を行いました。当事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

また、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定にあたり、一定期間の勤務後に権利が確定するストック・オプションについて、権利の行使により払い込まれると仮定した場合の入金額に、ストック・オプションの公正な評価額のうち、将来企業が提供されるサービスに係る分を含める方法に変更しております。なお、これによる潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額への影響はありません。

### (2) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 四半期財務諸表  
(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成24年1月31日)	当第3四半期会計期間 (平成24年10月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	923,108	1,331,630
売掛金	270,673	313,555
仕掛品	1,135	1,308
貯蔵品	357	347
繰延税金資産	76,708	28,703
その他	2,718	2,675
流動資産合計	1,274,700	1,678,221
固定資産		
有形固定資産	15,034	11,610
無形固定資産	34,434	36,772
投資その他の資産		
繰延税金資産	2,606	260
その他	4,026	3,919
投資その他の資産合計	6,633	4,179
固定資産合計	56,101	52,563
資産合計	1,330,802	1,730,784
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	389,736	518,535
未払法人税等	6,571	94,182
ポイント引当金	39,722	27,552
賞与引当金	—	35,542
その他	115,337	83,691
流動負債合計	551,367	759,503
固定負債		
資産除去債務	366	370
固定負債合計	366	370
負債合計	551,733	759,874
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	192,893	196,433
資本剰余金	203,904	207,444
利益剰余金	467,872	651,548
自己株式	△85,602	△85,602
株主資本合計	779,068	969,823
新株予約権	—	1,086
純資産合計	779,068	970,910
負債純資産合計	1,330,802	1,730,784

(2) 四半期損益計算書  
第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成23年2月1日 至平成23年10月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成24年2月1日 至平成24年10月31日)
売上高	1,515,061	2,118,062
売上原価	776,309	1,109,932
売上総利益	738,752	1,008,130
販売費及び一般管理費	480,414	682,126
営業利益	258,338	326,004
営業外収益		
受取利息	3	4
不要書籍売却益	83	224
還付加算金	53	—
その他	3	45
営業外収益合計	143	274
営業外費用		
支払利息	72	—
株式公開費用	9,039	—
株式交付費	4,921	—
営業外費用合計	14,032	—
経常利益	244,448	326,278
税引前四半期純利益	244,448	326,278
法人税、住民税及び事業税	713	92,251
法人税等調整額	130	50,351
法人税等合計	844	142,603
四半期純利益	243,604	183,675



(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) 重要な後発事象

当第3四半期会計期間  
(自 平成24年8月1日 至 平成24年10月31日)

(株式分割)

当社は平成24年10月10日開催の取締役会決議に基づき、平成24年11月1日を効力発生日として株式分割を行っております。

(1) 株式分割の概要

① 株式分割の目的

当社株式の投資単位当たりの金額を引き下げることにより、投資家の投資しやすい環境を整え、一層の投資家層の拡大と株式の流動性の向上を図る。

② 株式分割の方法

平成24年10月31日の最終の株主名簿に記載又は記録された株主の所有株式数を1株につき2株の割合をもって分割する。

③ 分割により増加する株式数

株式分割前の当社発行済株式総数 普通株式

2,113,200株

今回の分割により増加する株式数 普通株式

2,113,200株

株式分割後の当社発行済株式総数 普通株式

4,226,400株

(2) 新株予約権の調整

今回の株式分割に伴い、効力発生日と同時に新株予約権の目的となる株式の数と1株当たりの行使価額を以下のとおり調整いたします。

	調整前		調整後	
	株式数	行使価額	株式数	行使価額
第1回新株予約権	51,000株	700円	102,000株	350円
第2回新株予約権	21,000株	1,000円	42,000株	500円
第6回新株予約権	135,000株	1,200円	270,000株	600円
第7回新株予約権	70,000株	1,200円	140,000株	600円
第8回新株予約権	10,000株	1,200円	20,000株	600円
第9回新株予約権	30,000株	1,200円	60,000株	600円
第10回新株予約権	4,300株	2,354円	8,600株	1,177円
第11回新株予約権	1,300株	2,354円	2,600株	1,177円

(3) 株式分割の効力発生日

平成24年11月1日